

2014.3.28

「障害に正しい理解を」

作曲者 難聴者協会が声明
偽装問題

耳の聞こえない作曲者として活動していた佐村河内守氏による作曲者偽装問題を受け、都中途失聴・難聴者協会（新宿区）は二十七日、「聞こえについて正しい理解が社会に広

まらることを切望する」との声明を発表した。この問題発覚後、「聞こえないふりをしていないのではないか」などと、外見からは分からない聴覚障害への誤解が広がっているためという。

都庁で記者会見した新谷友良理事長は「日本は障害者の認定制度が厳しく、手帳を持つていなくても聞こえない人はたくさんいる」などと実情を訴えた。